

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は旭川で生まれ、八戸で学び、建設コンサルタント技術者として札幌、釧路にて勤務。39 歳からは、地元旭川へ帰郷し現在勤務している、株式会社イズム・グリーンに入社しました。

そして一昨年、諸先輩方の多岐に渡るご指導ご鞭撻を賜ることにより、念願の技術士登録にたどり着きました。トライアル 13 度目の春でした。

現在、53 歳。続けてきた趣味は、私の人間形成の必修科目である、①競馬、②ゴルフ、③映画の 3 つ。これらを私の器用な手綱さばきで三刀流対応し、受験対応中も前向き、馬なりに継続してまいりました。この結果、多くの素晴らしい先輩、後輩、知人、仲間たちに恵まれ、(乾杯多めの) 交流も深められ、充実した毎日を過ごさせてもらってます。本当は、趣味の手綱緩めて 13 年もの長い期間をかけず、最後の直線一気、瞬発力で突き抜けてゴール(技術士合格)すれば、いくらか参考となる「技術士合格体験記」を書けたかもしれませんでした。でも、悔いはありません。こういう手法は、こういう結果(13 年経過)となる顕著な例として、なるべく私のマネは回避してください。しかし私はこの経過、結果にすべてに大満足です。この 3 つの趣味を通じて得られた人間関係から、情報を得、人生を学び、現在の自分が形成されていると感じるからです。すべてに感謝です。これからも、これらの趣味を継続して人生を豊かに、そして技術者としての自己研鑽も趣味のように加え、指導的立場の技術者として、不断の努力と、健康で頑張りたいです。私の技術士人生は、これからです。競馬に例えるならゲートを飛び出したばかり、ゴルフに例えるなら 1 番ホールのティーグラウンドに立ったばかり、映画に例えるならノーモア映画泥棒の宣伝を見終えたあたりです。

藤島 義知(ふじしま よしのり)

●農業部門(農業土木)

勤務先

株式会社イズム・グリーン



⇒次号は、石山 智さん(農業部門)

私は、十勝地方に本社を構える株式会社ズコーシャというコンサルタント会社に勤務しており、主に動植物の調査や環境保全対策の検討などの業務に従事しています。学生時代から動植物の研究に携わっていたかということ、実はそうではありません。私は、室蘭工業大学と同大学院で土木工学を学び、将来は河川に関する技術者になるつもりでいました。しかし、就職してすぐの頃、上司から「これからの土木技術者は環境の知識も必要なので、環境分野の部署で修行してみないか?」と言われました。学生時代に「これからは環境分野も重要」という話は何度も聞いていましたから、何となくその言葉に納得しまして、入社二ヶ月で自然環境調査室に異動しました。就職して間もない頃は、大学院まで出ておきながら「将来どんな技術者になりたいのか」が漠然としていましたが、環境分野の仕事をするようになって、自分の目指すべき将来像が少しずつ描けてきたのを今でも覚えています。とは言っても、学生時代に自然と触れ合って来なかった私にとって、自然の厳しさは当時の私の想像以上に過酷で、ちょっとしたケガをするたび、炎天下で脱水症状になるたび、花粉症で辛い目にあうたび、ブユに顔中刺されるたび、蜘蛛の巣に顔を突っ込むたびに、泣き言を吐きたくなることもしばしば…。色々な人に支えられ、どうにかこうにか辞めることもなく今に至っています。「好きこそ物の上手なれ」と言いますが、好きだからこそ続けられる仕事かもしれません。もうかれこれ十数年も修行中の身ですが、今ではすっかりこのまま環境分野に骨を埋めるつもりでいます。とりとめもない自己紹介になりましたが、「土木と環境の架け橋となる技術者」を目指して、今後も精進していきたいと思います。

山田 昌義(やまだ まさよし)

●建設部門(建設環境)

勤務先

株式会社ズコーシャ
総合科学研究所自然環境調査室



⇒次号は、佐藤智行さん(建設部門、環境部門)